



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.827 2012年3月26日

ARIBからのお知らせ

第95回電波利用懇話会開催のお知らせ  
「NFCの標準化と電子マネー市場をめぐる今後の展望について」

NFC (Near Field Communication) の国際標準は、2003年12月にISO/IEC 18092 (NFC IP-1)として国際標準規格に制定され、2005年1月には、拡張規格であるNFC IP-2がISO/IEC 21481として国際標準規格に制定されました。

変調方式、符号化などの物理層、電波が衝突した際の制御方法などのデータリンク層は共通で、NFC IP-1ではMIFARE ([ISO/IEC 14443 Type A](#) 準拠) (taspoのほか欧州では交通系カードで広く普及) とFeliCa (Suica, Edy, WAON, nanaco, おサイフケータイなど、国内では交通系カードや電子マネーとして広く普及) に対応した通信仕様と、端末間通信プロトコルが定義されています。また、NFC IP-2では、NFC IP-1に加えて [ISO/IEC 14443 Type B](#) (住民基本台帳カード、免許証など) と [ISO/IEC 15693](#) (物流、小売などのICタグ・ICラベル) の通信仕様に対応しています。

また、NFCの利活用により電子マネーにより決済を行うシステムの構築については、我が国のみならず世界各国において様々な取り組みが行われております。さらに、スマートフォン等への搭載による更なる利便性の向上が期待されています。

こうした状況を踏まえて、今回の電波利用懇話会においては、高度無線通信研究委員会モバイルコマース部会の山本正行副部会長を講師にお迎えして、NFCの標準化と電子マネー市場をめぐる今後の展望について、ご講演を頂くこととなりました。山本正行氏は、決済サービス事業の企画、戦略立案を専門とするコンサルタントとして活躍され、電子マネー市場においては、銀行、クレジットカード関連会社、通信キャリア、鉄道会社などの事業化などに関与されています。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成24年4月27日(金) 午後2時から3時30分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル11階)  
東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題 名 : NFCの標準化と電子マネー市場をめぐる今後の展望について
- 4 講 師 : 高度無線通信研究委員会モバイルコマース部会 副部会長 山本 正行 様  
(山本国際コンサルタンツ)
- 5 対 象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤まで  
TEL: 03-5510-8592 e-mail:arib-seminar2011@arib.or.jp

## 2012 日中 TDD フォーラム／2012GTI アドホックセミナー in 東京のご案内

日本発の技術である「XGP」の海外における導入促進、及び日中協力による TDD 技術の普及促進と関連産業の発展を目的に、日中及び海外の TDD 導入を目指す通信事業者等に対し、日本での XGP サービスの商用化の紹介を中心として、TDD 技術の成熟および今後の発展についてのセミナーを行うこととなりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

なお、本セミナーは、XGP フォーラム、中国 TD 産業連盟 (TDIA)、GTI (グローバル TDD イニシアチブ) が主催し、ARIB 及び YRP 研究開発推進協会の後援により行われます。

### 記

1 開催日：2012 年 4 月 25 日(水)、26 日(木)

2 場 所：ザ・キャピトルホテル東急

URL：<http://www.capitolhoteltokyu.com/ja/index.html>

3 参加費：無料

(席の数に限りがあります。定員に達し次第、お断りする事になりますので、早めのお申込をお勧め致します。)

4 申込先：<http://www.xgpforum.com/>

申し込み用の ID と Password (ID : xgp Password : tddtokyo)

5 その他：2 日目に予定されております「XGP / LTE TDD Drive Demo」は、海外のお客様やオペレータを優先させていただいております。

ご利用になれない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

## ARIBの動き

### 第 182 回業務委員会を開催

第 182 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成 24 年 3 月 14 日(水) 午後 1 時 30 分から 2 時 32 分まで

2 場所 当会第 2 会議室

3 議事概要

(1) 光無線通信システム推進協議会(ICSA)の解散についての説明

(2) MMAC(マルチメディア移動アクセスフォーラム)の解散及び今後の活動についての説明

(3) ARIB/TTC/インド GISFI 共催ワークショップ開催についての報告

(4) 移動通信電話の普及に伴う電波塔の共同設置等に係る要望についての説明

## 第 11 回日中韓情報通信標準化会議の概要 (11<sup>th</sup> CJK IT Standards Meeting)

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓三カ国の情報通信標準化機関(SDO)の相互協力をより積極的に推進することを目的とした「日中韓情報通信標準化会議」の第 11 回会合が、3 月 14 日から 16 日まで、日中韓の 4 つの SDO (ARIB、CCSA(China Communications Standards Association)、TTA(Telecommunications Technology Association)及び TTC) 及びゲストとして招聘した GISFI(The Global ICT Standardization Forum for India)、ITU(International Telecommunication Union)から約 100 名の参加 (ARIB からは若尾専務理事を団長に 8 名の参加) のもとで、九州の宮崎で開催されました。

今会合では、第 11 回全体会合のほか、第 30 回 IMT (International Mobile Telecommunication)WG、第 23 回 UNIOT (Ubiquitous Networking in support of Internet of Things) WG、TACT(Administrative Matters) AdHoc、Information Security AdHoc、M2M (Machine to Machine) AdHoc 及び MPLS-TP (Multi-Protocol Label Switching- Transport Profile) AdHoc の会合が並行して開催されました。

ここでは、以下に第 11 回全体会合と第 30 回 IMT WG 会合の概要について報告します。

### 1 第 11 回全体会合

#### (1) オープニング会合

- ・ 開会の挨拶に続いて、ゲストとして招聘した ITU 及び GISFI から挨拶がありました。
- ・ 各 SDO からの活動状況報告 (若尾専務理事からは、前回の韓国会合以降の ARIB の最新の活動状況を報告) がありました。
- ・ WG 等から、これまでの活動状況報告がありました。この中で、NID/USN (Network ID and Ubiquitous Sensor Network) WG は終了することが承認されました。また、Information Security AdHoc、M2M AdHoc、MPLS-TP AdHoc の三つの AdHoc の設立が提案され、承認されました。

#### (2) クロージング会合

- ・ 今会合中に開催された WG 等から審議概要の報告がありました。この中で Information Security AdHoc からは WG の設立が提案され、承認されました。
- ・ 次回の第 12 回日中韓情報通信標準化会議は、CCSA のホストで 2013 年 4 月に中国の洛陽で開催されることが報告されました。

### 2 第 30 回 IMT WG 会合

- ・ 31 名参加 (ARIB:13、CCSA:8、TTA:8、GISFI:1、ITU-R:1)
- ・ 各 SDO 並びに主管庁における IMT に関する活動の情報共有がなされました。
- ・ 3GPP、ITU-R WP5D の最近の活動状況と、RA-12(無線通信総会)、WRC-12(世界無線通信会議)、CPM-15-1(WRC 準備会合)の結果について情報共有がなされました。
- ・ 次回の WRC-15 に向けた共同検討項目の特定を行いました。
- ・ 4 月開催の AWG-12 に向けて情報共有がなされました。
- ・ 無線電力伝送に関する Special Interest Group (SIG-WPT) の新設について合意し、次回会合までに活動内容の詳細を決めることになりました。
- ・ 次回の第 31 回 IMT WG 会合は、CCSA のホストで、2012 年 6 月 6 日～7 日(仮)に中国で開催することが報告されました。



第 11 回日中韓情報通信標準化会議(CJK-11)の様子



第 30 回 IMT WG 会合の様子



CJK-11 への出席者

高度無線通信研究委員会 IMT-Partnership 部会

3GPP-SA 対応 WG 主査

3GPP-CT 対応 WG 副主査

野田 昭繁

(富士通株式会社 ネットワークビジネスグループ  
事業企画本部 事業管理統括部 標準化推進部 部長)

私が最初に ARIB での標準化活動に関わったのは PHS の標準化と記憶しております。当時は財団法人電波システム開発センター (RCR) と呼ばれていたかと記憶しております。それがきっかけで第 3 世代移動通信に関する標準化活動に参加するようになり、1998 年 12 月の 3GPP の発足とともに ARIB 活動により深く参加させていただくようになりました。当時はメンバーの若手の 1 人でしたが、今は最もベテランの 1 人となってしまいました。

3GPP の初期は手探りの状態で、国内標準化活動の進め方とは違う部分があり、特に技術的な意見よりも活動の進め方や考えの違で、ヨーロッパや北米のメンバーとぶつかった思い出があります。その当時を振り返ると確かに日本の標準化活動は日本独自の部分があったと思いますが、それと同時にヨーロッパや北米にも彼ら独自のやり方があり決して彼らが国際的ではない、ということも理解しました。そのような衝突もありましたが 3GPP という新しい組織形態、活動形態を絶対に成功させようという意気込みは共通でお互いを理解、尊重することで進めることができました。この様な状況で標準開発ができたのも 3GPP 設立時の故佐々木常務理事、そして現常務理事の佐藤様を初めとして ARIB がこの新しい試みに対して積極的かつ強力にサポートしていただいたおかげと本当に感謝しております。

私は現在高度無線通信研究委員会配下の IMT-Partnership 部会において 3GPP-SA (システム関連仕様) 対応 WG の主査、同 CT (コアネットワーク関連仕様) 対応 WG の副主査を拝命しております。無線技術の能力を最大限に発揮、また様々な利用シーンに対応するためには無線技術を生かすネットワークシステム全体の構築が不可欠と考えております。新たな移動通信の標準化に取り組んでいくためにも会員各位の一層の御協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

3 月も中旬を過ぎて、ぽかぽか陽気というにはほど遠い日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？ 青梅梅郷では梅の開花が例年より約 3 週間遅れているようで、見ごろのピークが 3 月末から 4 月初めぐらいになるようです。花粉対策をして、久しぶりに見にいつてみようかな。

(編集子 : Oz)

**ARIB**

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)